科目名			担当教員	
福祉サービスの組織と経営			高橋　誠一	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC4099	2	1	RorSR（講義）	3 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

この科目では、福祉サービス提供組織の多様性を理解し、共通して必要となる福祉サービス提供組織の経営に津いて学んでいきます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

■到達目標

1）福祉サービス経営者としての法人の役割を説明できる。
2）職員をサポートしリードしていく管理者の役割を理解し、説明できる。
3）福祉サービスの質を保証し、利用者の選択と意見を取り入れていく仕組みや第三者評価を説明できる。
4）職員の待遇、人材の確保、人材の育成を理解し、説明できる。
5）会計財務管理の基本を理解し、説明できる。
6）経営学の基礎知識を理解し説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】

『新・社会福祉士シリーズ 11 福祉サービスの組織と経営』弘文堂、2024 年

（最近の教科書変更時期）2024 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

教科書の「文献」欄参照

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

福祉サービスの特質を理解した上で、福祉サービスを提供する法人形態を営利、非営利を含め、多面的に理解する。福祉サービス提供組織として利用者をどのように支援していくのか、そのための組織のあり方を学ぶ。利用者に直接関わる職員、職員を支援する管理機能の役割を人事システム、労務管理の視点も含めて理解する。会計の仕組みを理解する。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	福祉サービスにおける組織と経営	福祉サービスと制度
2	福祉サービスにかかわる組織や団体	法人一般、社会福祉法人、特定非営利活動法人、その他の組織や団体
3	福祉サービスの組職の基礎理論	戦略、事業計画
4	福祉サービスの経営の基礎理論	集団の力学、リーダーシップ、モチベーション
5	福祉サービスの管理運営の方法（サービス）	サービスマネジメント、サービスの質の評価
6	福祉サービスの管理運営の方法（人事等）	人事労務管理、人材育成
7	福祉サービスの管理運営の方法（会計）	会計管理と財務管理
8	質疑応答	補足とまとめ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

スクーリング試験 100%（持込可）。試験では、とくに到達目標記載内容について理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書は読んできてください。講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	福祉サービスの制度改革と経営	1）社会福祉サービスの歴史 2）社会福祉基礎構造改革 3）社会福祉事業の「運営」から「経営」への転換 キーワード：社会福祉基礎構造改革、措置制度、契約制度、福祉三法、社会福祉法、福祉六法、社会福祉法人制度改革	社会福祉基礎構造改革のポイントを踏まえ、「措置から契約へ」の流れのなかで福祉サービスに「経営」の視点が求められるようになった背景を理解しよう。

2	法人の基本形態と社会福祉	1）法人とは 2）法人の基本形態 3）さまざまな法人設立の方式 4）社会福祉事業の概要 キーワード：法人、営利法人、非営利法人、財団法人、社団法人、公益財団法人、公益社団法人、ガバナンス、コンプライアンス、認可主義、認証主義、準則主義、第一種社会福祉事業、第二種社会福祉事業	今日におけるわが国の社会福祉サービスの提供主体を担っているさまざまな法人の基本形態やその設立方式に着目し、法人とは何かについて学びを深めていこう。
3	福祉サービスを提供する組織や団体社会福祉法人	戦後、わが国の社会福祉サービスの提供主体として大きな役割を果たしてきた社会福祉法人について理解する。 キーワード：社会福祉法人の基本理念、評議員、評議員会、理事、理事会、監事	社会福祉法において社会福祉法人の役割はどのように考えられているか学ぼう。
4	福祉サービスを提供する組織や団体特定非営利活動法人	特定非営利活動法人について理解する。 キーワード：特定非営利活動法人（NPO 法人）、特定非営利活動法人（NPO 法人）の課税	1.特定非営利活動法人が生まれた背景は何か。 2.認証の仕組みはどのようなものか。
5	福祉サービスを提供する組織や団体医療法人	医療法人の特徴を理解する。 キーワード：医療法人、医療法人の設立、医療法人改革	1.医療法人の法人としての多様性を理解する。 2.医療法人の根拠法を理解する。
6	福祉サービスを提供する組織の設置基準	1）社会福祉施設（福祉サービス事業所）を開設するということ 2）社会福祉施設設置基準 3）社会福祉施設の運営費用の内訳と負担割合 4）社会福祉施設における監査 5）持続可能な社会福祉施設の運営 キーワード：コンプライアンス、ステークホルダー、行政監査、内部監査、指導監査、特別監査	児童・高齢者・障害者施設等の社会福祉施設を設置する際のさまざまな基準や、社会福祉施設等の運営の仕組みやその財源について学び、適切な運営が客観的にどう担保されているかについても学ぼう。
7	福祉サービスの運営と経営に関する基礎理論	1）福祉サービスの経営と組織とは 2）社会福祉法人の経営体制の見直しと強化 3）組織が機能していくための構造 キーワード：組織構成の３要素、基本理念、社会福祉法人の経営に関する検討報告書（2000 年）、社会福祉法人制度改革、組織構造の５原則、組織形態	組織が成立するために必要な要素を考え、優れた組織を構築するための原理・原則について学ぶ。 さらに、今後求められる福祉サービスの経営に関する視点を経営に関するいくつかの基礎理論から考えよう。

8	福祉サービスの組織に関する基礎理論	1）組織に関する基礎理論 2）集団力学に関する基礎理論 3）リーダーシップに関する基礎理論 キーワード：欲求階層説、XY 理論、動機づけ・衛生理論	サービス事業者は、定期的に福祉サービス内容を見直し、将来を見据えた目標を達成できるよう、組織に関するさまざまな理論や知識を習得し実践する必要があることを学ぼう。
9	福祉サービスの運営と経営管理に関する基礎理論	1）サービスマネジメントの考え方 2）福祉サービスの質を支える評価と情報公開 3）中長期計画の策定 キーワード：PDCA サイクル、SDCA サイクル、SECI モデル、第三者評価制度、護サービス情報公表制度、域密箔型サーピス外部評価	サービス提供者中心による福祉サービスの提供から、利用者本位の支援へと考え方が転換され、事業者は、利用者のニーズに沿った組織の経営管理、サービスの提供をマネジメントしていくことが求められるようになったことを学ぼう。
10	福祉サービスの危機管理に関する基礎理論	1）福祉サービスにおける危機管理（リスクマネジメント） 2）苦情解決と情報管理 3）危機管理としての業務継続計画（ＢＣＰ） キーワード：リスク、リスクマネジメント、アドボカシー、アカウンタビリティ、ICT、運営適正化委員会、VISIT、CHASE、LIFE、BCP 業務継続計画、サプライチェーン（供給網）	リスクマネジメントについて現場からの視点で学びを深めていこう。
11	福祉サービスの人事管理に関する基礎理論	1）福祉サービスにおける人事管理とは 2）福祉人材の確保 3）福祉人材の評価 4）福祉人材の育成 5）福祉人材の育成とキャリアパス キーワード：OJT、OFF-JT、SDS、スーパービジョン、キャリアパス、目標管理制度	組織における人事管理の基本について社会福祉専門職として学びを深めよう。
12	福祉サービスの労務管理に関する基礎理論	1）労務管理の概要 2）労働法と労務管理 3）子育て・介護と労務管理 4）メンタルヘルスおよびハラスメント対策と労務管理 キーワード：科学的管理法、出来高払、高年齢者雇用安定法、若者雇用促進法、裁量労働制、ストレスチェック制度、フレックスタイム制	労務管理に関連する重要な法律、特に基本となる労働基準法と労働安全衛生法については十分に理解できるよう努めよう。
13	福祉サービスの会計・財務管理に関する基礎理論	1）福祉サービスの会計の基本 2）社会福祉事業における資金の確保 3）社会福祉法人における会計基準 4）福祉サービスにおける財務管理 キーワード：非営利組織、寄付、法定代理受領、資金収支計算書、貸借対照表	国が定める社会福祉法人等に対する会計基準について理解するとともに、行政による補助金や交付金、事業収入や寄付制度の仕組み、その他財源についての理解を深めよう。

14	福祉サービスにおける人材育成の実際	1）キャリアを重ねる 2）福祉現場で活用されている多様な人材育成の方法 3）PDCA を活用した人材育成 4）スーパービジョンを用いた人材育成の実際 キーワード：キャリアパス、プリセプター制度	福祉サービスを提供する現場においてどのような人材育成が行われているのかを学ぼう。
15	福祉サービスの現状と課題	1）社会福祉関連分野の法人数の推移 2）労働課題に関する状況 3）虐待関係の状況と対策 4）福祉サービスのマンパワーに関する課題 キーワード：社会福祉関連分野の法人（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法）の法人数の推移と法人の内訳と活動分野、失業率と完全失業率、労働者数、高齢者虐待と障害者虐待、外国人人材の受け入れ状況	統計データを用いて、福祉サービスの現状と課題を整理しよう。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	利用者中心の福祉サービス提供を実現するために必要と考えられる組織的取り組みを述べよ。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるでしょうか。

科目修了試験

■評価基準

内容を理解した上で書かれているかを重視しますが、キーワードが書かれており、適切に使用されているか、を評価します。